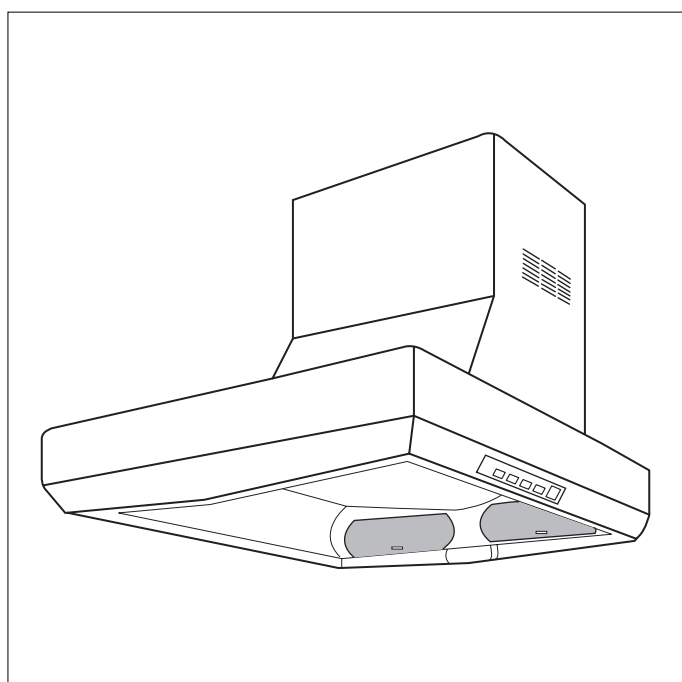


ヤマハレンジフード サイドサイクロンフードシリーズ

取扱説明書



このたびは、ヤマハレンジフード「サイドサイクロンフード」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この説明書をよくお読みください。
また、この商品を正しくお使いいただくために、この説明書は常にお読みいただけるように、身近に保管してください。
- 保証書はシステムキッチン本体のものと兼用です。
レンジフード専用の保証書はございません。
- ご使用いただいているお客様が変わられる場合は、取扱説明書を確実にお渡しください。
- オプションのリモコンの取扱いはリモコンに同封されている専用の取扱説明書をご覧ください。
- レンジフードは専用調理器具（ガスこんろ・IHクッキングヒーター）と連動運転ができます。
専用調理器具については弊社までお問い合わせください。
- この商品は、家庭での使用を基準にしたものです。業務用でのご使用は避けてください。

■シリーズ一覧

	左壁取付用	右壁取付用
標準タイプ (左壁取付用/右壁取付用)	STC901WSNML	STC901WSNMR
同時給排気タイプ (左壁取付用/右壁取付用)	STC901WSDKL	STC901WSDKR

も く じ

	ページ
1. 安全のために必ずお守りください	1~4
2. 未永くお使いいただくために	5
3. シリーズと各部のなまえ	6
4. ご使用方法	7~8
5. 点検・お手入れ方法	9~12
6. 故障かなと思ったら	13
7. 仕様	13
8. 本製品の設計上の標準使用期間について	14
9. 保証とアフターサービス	裏表紙
10. 廃棄処分される場合のお願い	裏表紙

1. 安全のために必ずお守りください

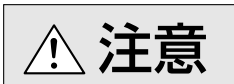
警告表示と注意表示について

この取扱説明書記載の警告事項 **警告**、**注意** の区別について



警告

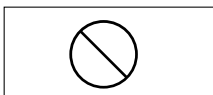
取扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷を負う可能性がある危険な状態が想定される内容を示します。



注意

取扱いを誤った場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

その他お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区別し説明しています。



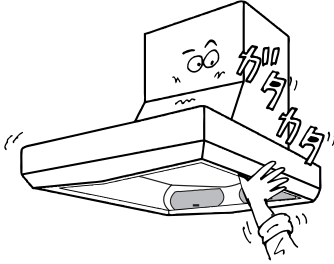

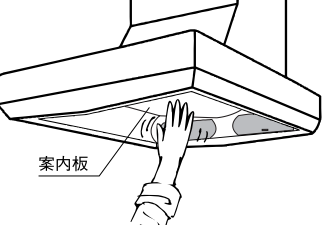
このような図記号は、製品の取扱いに於いて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いに於いて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

※いずれの場合も重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

ご使用の前に点検をしてください


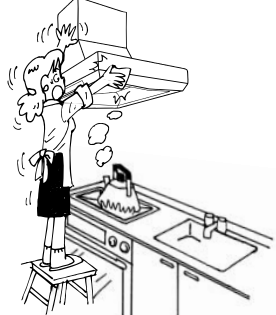

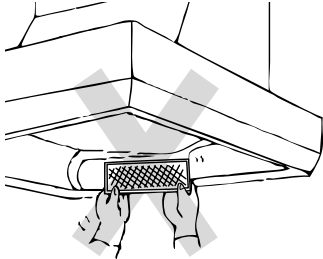
図記号	警告 (万一の場合を考えて点検をお願いします)
	<p>レンジフードは確実に固定されているか確かめる。</p> <p>しっかり固定されていないと、レンジフードが落下してけがをするおそれがあります。ガタツキ等がありましたら、ただちにお求めの販売店へご連絡ください。</p> 
	<p>フィルターは確実に固定されているか確かめる。</p> <p>しっかり固定されていないと、フィルターが外れけがをするおそれがあります。</p> <p>※固定方法は10ページを参照してください。</p> 
	<p>案内板は確実に固定されているか確かめる。</p> <p>しっかり固定されていないと、案内板が外れ、けがをする場合があります。</p> <p>※固定方法は11ページを参照してください。</p> 

ご使用時は必ずお守りください


図記号	⚠ 警告	
	<p>ガス漏れのと看、レンジフードのスイッチを切／入しない。</p> <p>切／入時の火花が引火してガス爆発の原因になります。窓を開けるなどして換気してください。</p>	
	<p>コンロ・オーブン等ガス機器使用時は必ずレンジフードを運転する。</p> <p>酸欠や一酸化炭素中毒になるおそれがあります。また熱による故障の原因になります。IHクッキングヒーター等、電気コンロ・オーブン使用時も故障対策の為にレンジフードを運転してください。</p>	
	<p>調理中、油に火がついたときは運転を止める。</p> <p>火の勢いが強くなるおそれがあります。</p>	
	<p>レンジフードに水や洗剤をかけない。</p> <p>感電のおそれや機器の破損および火災の危険性があります。</p>	
	<p>運転中、指や物を絶対に入れない。</p> <p>けがや故障の原因となります。</p>	
	<p>レンジフードの上にものを置いたり、ぶら下がったりしない。</p> <p>レンジフードが変形したり、上のものやレンジフード自体が落下して、故障やけがをするおそれがあります。</p>	

1. 安全のために必ずお守りください


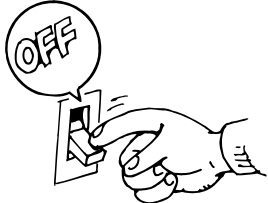
ご使用時は必ずお守りください

図記号	⚠ 注意
	<p>コンロで加熱中は絶対に手入れをしない。 やけどの原因になります。</p> 
	<p>市販の使い捨てフィルターなどの金属製以外のフィルターを使用しない。 換気性能の低下や、引火し燃えるおそれがあります。</p> 

訪問販売についてのご注意

図記号	⚠ 注意
	<p>訪問販売されているフィルターや市販品は、使用しない。 換気性能の低下や、引火し燃えるおそれがあります。 ※弊社では、レンジフードフィルター等の取り替えについては、お客様のご依頼によって行っており、事前連絡なしに訪問販売をすることは一切ありません。弊社の名前を語ったり、関連性を強調したりしてレンジフードフィルター等を販売する訪問販売業者については、弊社とは全く関係ありませんので、十分ご注意ください。</p>

点検・お手入れ時は必ずお守りください




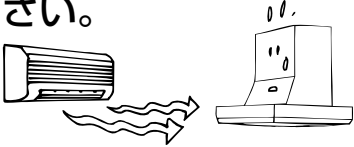








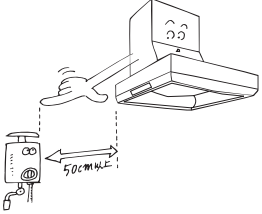
図記号	⚠ 注意
	<p>長期間使用しないときは、電源プラグを抜くか、分電盤のブレーカーを切る。 絶縁劣化による感電や火災の原因になります。</p> 

点検・お手入れ時は必ずお守りください

図記号	⚠ 注意	
	<p>電源プラグを抜くときは、必ず先端のプラグを持って引き抜く。 コードに傷がつき、火災や感電の原因になります。</p>	
	<p>修理技術者以外の人には絶対に分解したり修理・改造しない。 発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります。</p>	
	<p>手入れの際は、厚手の手袋をする。 端面や角でけがをするおそれがあります。</p>	
	<p>レンジフードを手入れする時は、必ずスイッチをロックするか、電源プラグを抜くか、もしくは分電盤のブレーカーを切る。 掃除中にファンが回ると、けがや感電をするおそれがあります。 ※スイッチのロック方法は7ページを参照してください。</p>	
	<p>手入れは指定のお手入れ方法に従い実施する。 レンジフードが傷み、故障の原因になります。</p>	
	<p>モーター・電装ボックス等には絶対に水や洗剤・薬品をかけない。 発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります。</p>	

2. 末永くお使いいただくために

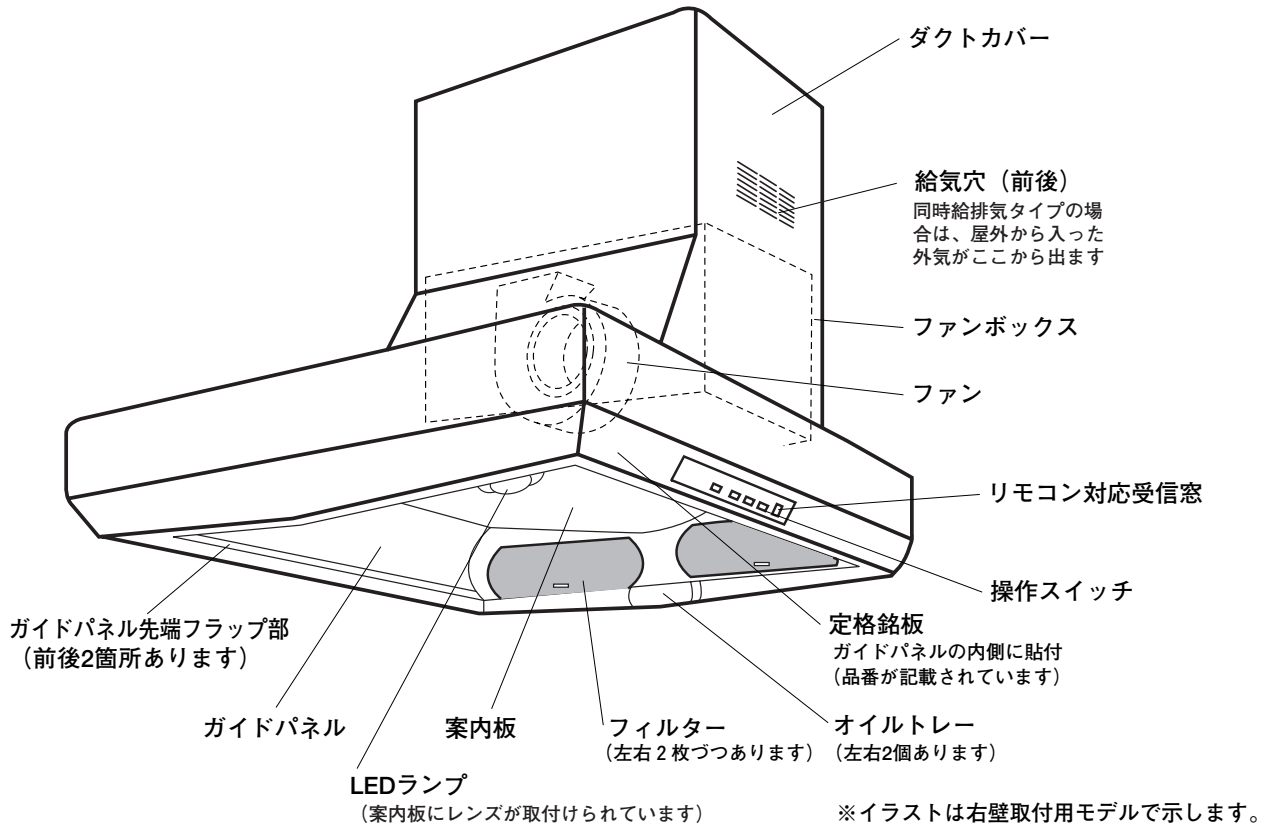
使用上のお願い

図記号	お願い
	<p>IHクッキングヒーターと合わせて使用する場合には横風等の影響で煙の捕集性能が悪くなる場合があります。</p> <p>また、キッチンの気温が低いときに使用された場合や大量のお湯を沸かし続けた場合には、レンジフードの表面が結露することがあります。この場合は拭き取って使用してください。</p>
	<p>油やレンジフード内部の結露水が、オイルトレイ一杯になる前にお捨てください。</p> <p>IHクッキングヒーター使用時、フードがあたたまりにくいため、結露（水滴）が生じることがあります。内部に結露した水滴はオイルトレイにたまりますが、一杯になるとあふれてこぼれます。特に冬季など気温の低い状況では、結露水がたまりやすくなりますので、ご注意ください。</p>
	<p>エアコンや扇風機などの風をあてないでください。</p> <p>風を受けると、吸い込みが悪くなります。</p> <p>IHクッキングヒーターは上昇気流がほとんどないため、オープンな場所では特にフードから漏れやすくなります。</p> 
	<p>フィルターに市販のフィルターを重ねて使用しないでください。</p> <p>【ご注意】 性能を維持するため、専用のフィルターをご使用ください。（訪問販売はしておりません。）</p> 
	<p>調理中は給気を行なってください。</p> <p>レンジフードの反対側の壁に空気の入入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください。空気を取り入れが不十分ですと換気性能が低下します。</p> <p>※ただし、空気が流れていると吸い込みが悪くなりますので注意してください。</p> 
	<p>ダクトカバーの表面に結露（水滴）が多量に発生する場合は、水滴が垂れる前に拭き取ってください。</p> <p>同時給排気タイプの場合、ダクトカバーの給気穴より外気を取り入れることができます。外気温度が低く、キッチンの湿度が高い場合、ダクトカバーの表面が結露することがあります。</p>
	<p>調理器具の空焚きは絶対にしないでください。</p> <p>製品の損傷や高熱による故障の原因となります。</p> 
	<p>湯沸器はレンジフードから50cm以上お離してください。</p> <p>ガス湯沸器周辺はかなり高温になるので50cm以上離してください。湯沸器の上部には絶対にレンジフードを取付けないでください。製品の損傷や高熱による故障の原因となります。</p> 

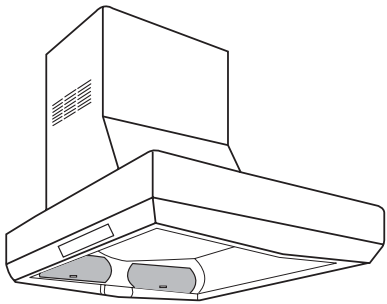
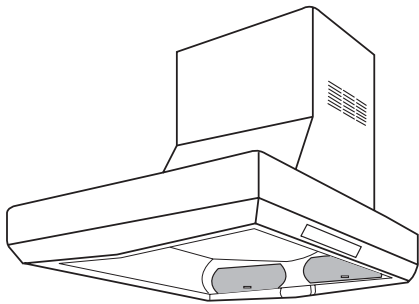
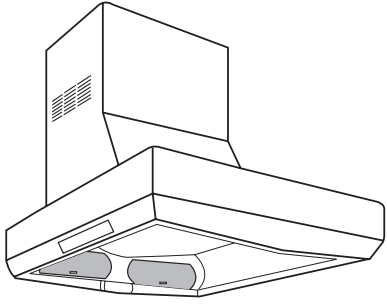
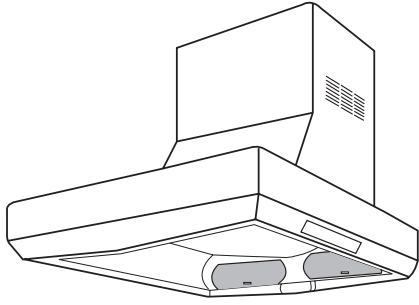
3. シリーズと各部のなまえ

同時給排気タイプの例

(シリーズにより本体の部品の配置がこととなります)

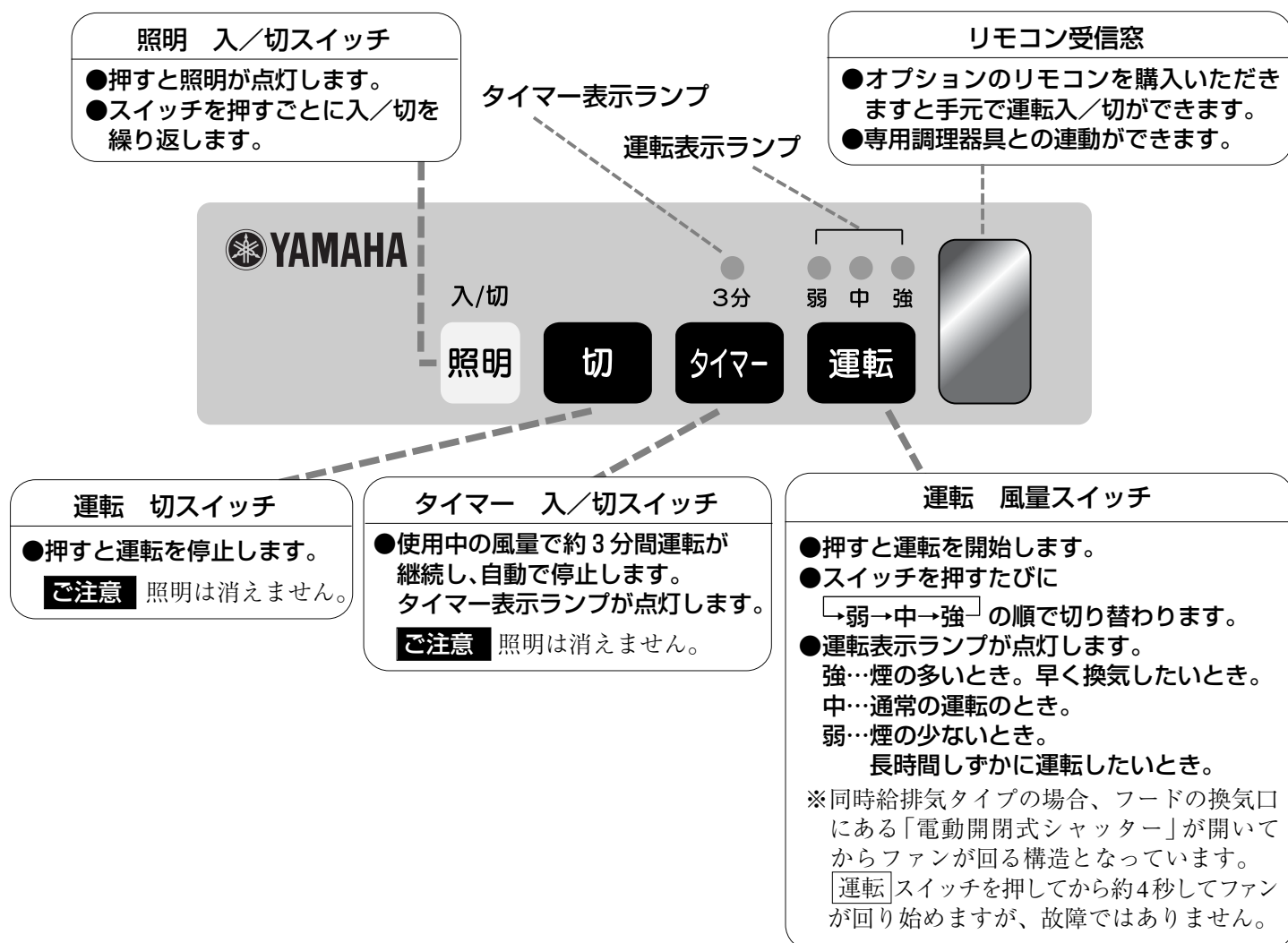


シリーズのなまえ

 <p>標準タイプ (左壁取付用) STC901WSNML</p>	 <p>標準タイプ (右壁取付用) STC901WSNMR</p>
 <p>同時給排気タイプ (左壁取付用) STC901WSDKL</p>	 <p>同時給排気タイプ (右壁取付用) STC901WSDKR</p>

4. ご使用方法

スイッチ操作のしかた



■切り忘れ防止タイマー機能

このレンジフードには切り忘れ防止のため、タイマー運転しないときでも最後に操作したときから約5時間運転し続けると、自動的に運転停止、および消灯します。再び運転するときは、運転スイッチを押してください。

■スイッチのロック機能（操作機能全てが「切」状態になります）

この操作は本体のお手入れや電球交換の際には必ず行なってください。

「切」スイッチを約3秒間押し続けると「ピー」と音が鳴り、スイッチがロックされ、ファンは停止し、照明も消灯します。この状態で、「切」以外のスイッチを押しても「ピピッ」と警告音が鳴り、ファン・照明は作動しません。※リモコンや専用調理器具との連動操作も受け付けません。

「ロック」を解除するには、もう一度「ピー」と音がするまで「切」スイッチを約3秒間押し続けます。ロック解除後は、必要に応じて、照明、運転・風量スイッチを再操作してください。

※ロック操作は調理を終え、レンジフードが十分冷めた状態で行なってください。

※停電した場合やブレーカーを切った場合は、ロックが解除されます。

レンジフード連動タイプ専用調理器具との組み合わせ

レンジフードは専用調理器具（ガスこんろ・IHクッキングヒーター）と組み合わせ調理器具の操作により運転を行なうことができます。

お願い

専用調理器具が発信する赤外線信号は、直接または人体に反射したものがレンジフードのリモコン受信窓で受信されます。

鍋、釜や操作する際に手や頭等で、赤外線信号を遮らないようにしてください。

また、専用調理器具を操作する際は、レンジフードで赤外線信号を受信出来る位置に立って操作を行なってください。 ※専用調理器具によっては、複数回発信しています。

- 専用調理器具を着火（運転）すると、自動的にレンジフードは「中」運転を行ないます。
この運転中でもレンジフードの「運転 風量スイッチ」での風量切り替え、「切」スイッチでの停止、「照明入・切」スイッチでの照明の点灯・消灯も行なうことができます。
- 専用調理器具を消火（停止）した時、レンジフードは使用中の風量で約3分間運転が継続し自動で停止します。
※照明は自動停止しません。
- 専用調理器具の操作パネルでもレンジフードの運転、停止、照明の点灯・消灯などが行なえます。
詳細については専用調理器具の取扱説明書をご覧ください。

5. 点検・お手入れ方法

お手入れにあたってのお願い

- このレンジフードは、フィルターから内部に入った油はオイルトレイにたまる構造となっています。オイルトレイとフィルターを定期的にお手入れして頂ければ、案内板を外しての内部のお手入れは不要です。※内部に油は付着しますが運転に支障はありません。
- 有機溶剤は使用しないでください。
また酸・アルカリ性の洗剤は使用しないでください。
レンジフードが変色・変質します。
 - ・有機溶剤
シンナー、ガソリン、アルコール、アセトンなど
 - ・酸、アルカリ性の洗剤
トイレ・タイル用洗剤材、サビ・カビ取り剤など
- タワシや磨き粉はキズをつけますので使用しないでください。



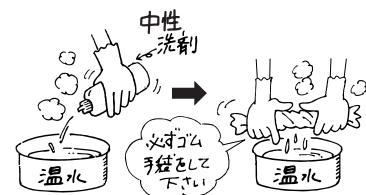
注意



点検・お手入れ後は、フィルター・オイルトレイが確実に取付けられていることを確かめる。取付けが不十分ですと、部品が外れて危険です。

レンジフード本体のお手入れ（外観部）

- 油の付着、汚れ等がありましたら中性洗剤を使用し柔らかい布で拭いてください。
- 必ず空拭きをし、完全に乾燥させてからご使用ください。



オイルトレイ・ガイドパネル先端フラップ部のお手入れ

月1回程度、オイルトレイの油量を確認してください。オイルトレイの半分位の油がたまるまでに油を捨て、洗浄してください。また、ガイドパネル先端フラップ部の内側への油の付着を拭いてください。

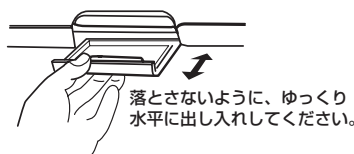
※調理油量によっては、半年以上油がたまらない場合もあります。

□オイルトレイのお手入れ

お願い

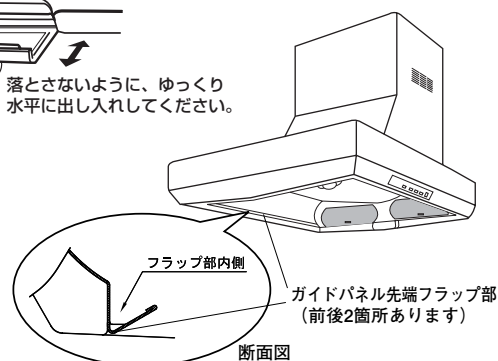
オイルトレイを外している間は本体から油が落ちるおそれがあります。オイルトレイ取付け部内で、落下する油を受けるようにしてください。変色を防ぐため、台所用洗剤（中性）以外は使用しないでください。「キズ」を防ぐため、硬いタワシ等は使用しないでください。

- ①オイルトレイをゆっくり、水平に引き出してください。
- ②油を捨てた後、付着している油は柔らかい布やスポンジで拭いてください。
汚れが取れない場合は、薄めた中性洗剤で洗ってください。
- ③オイルトレイを本体に戻してください。



□ガイドパネル先端フラップ部のお手入れ

ガイドパネル先端フラップ部の内側に油の付着・汚れ等がありましたら、あふれて滴下する前に柔らかい布で拭きとってください。



フィルターのお手入れ

フィルターに油が付きはじめたら、掃除してください。
月2回程度の掃除が清潔を保ちます。

⚠ 注意



フィルターを取外したり、取付けする時は、コンロを止め、必ず運転を停止する。
コンロがついていたりファンが回っていると危険です。
フィルターを取外したり、取付けする時は、落下しないよう下の手順を守る。
やけどやけがのおそれがあります。

① フィルターの取外し

- ① フィルター下部のつまみを持って、フィルター上方のピンを押し込みながら上に持ち上げます。
- ② フィルター押えの上までフィルターを持ち上げ、押えを乗り越えながら斜め下方に下げて取外します。

② ボールなどの水槽に市販の“中性洗剤”を薄めたぬるま湯(40℃程度)を用意します。

ボールはフィルターが平らに置けるサイズにしてください。

③ フィルターをボールなどの水槽に30分浸します。

15分したら、反転します。

④ フィルターをボールなどの水槽の中に浸したまま、平らな状態で歯ブラシ等を使ってこすってください。

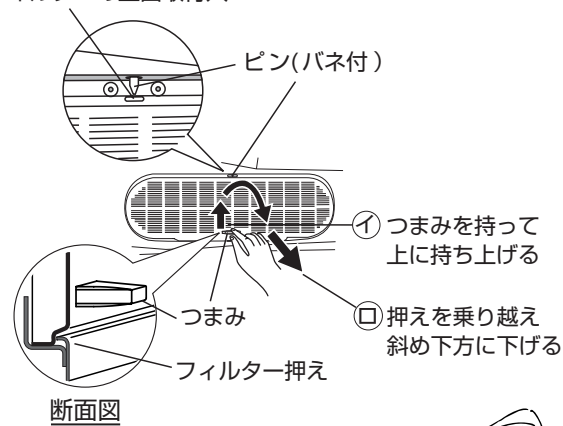
平らでない場合、フィルターが変形する恐れがあります。
また硬いタワシ等でこすると、キズがつきますので使用しないでください。

⑤ スポンジを使用して、水洗いしてください。

もし汚れ落ちが不十分な場合は、もう一度最初からやり直してください。

⑥ 完全に乾燥させてください。

フィルターの上面取付穴



⚠ 注意

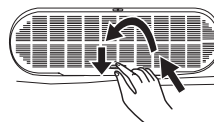


必ずゴム手袋をする。
フィルターの端部・突部で手を切るおそれがあります。

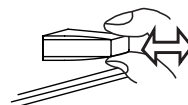
⑦ フィルターの取付け

外した時の逆の手順で、つまみを下部中央の位置にし、フィルターの上面の穴が上方のフィルター固定用ピンにはまるよう合わせて上へ持ち上げてから、下部をフィルター押えの奥にはめこみ取付けます。

⑧ つまみを引っ張り、フィルターが外れてこないことを確認してください。



取付けはフィルター上面の穴をピンに挿入してから下げる



フィルター取付け後は固定を確認

⚠ 注意



フィルターは、市販品や訪問販売されているもの(不織布等の金属製以外のものも含む)は使用しない。
引火や故障のおそれがあります。

5. 点検・お手入れ方法

レンジフード内部の点検のしかた

このレンジフードは、ファンがひどく汚れて排気性能が低下した時以外は、案内板を外しての内部のお手入れは不要です。

内部のお手入れ・点検を行なう場合の手順を説明します。

⚠ 注意



ファンのお手入れや内部の点検を行なうときは、**切**スイッチを「ピー」と音がするまで約3秒間押し「ロック」状態にするか、分電盤のブレーカーを切って行なう。

ファンが回っていると危険です。

取外し、取付けの際は、フィルター・案内板が落下しないよう手順に従い確実に行なう。落下してけがをするおそれがあります。

取付けは各部品にガタツキがないよう確実に取付ける。

●「フィルターのお手入れ」に従い、フィルターを外します。

●案内板を外します。

①案内板手前のコインねじ2箇所を外し、案内板の手前を持って水平のまま手前側に少し移動してからゆっくりと案内板手前を下方へ下ろします。

※ねじを外す時案内板とねじが落ちないように手で支えてください。

※案内板手前が下りて来ない時は、指掛け部に指を掛けて引き下ろしてください。

②案内板を両手で持ち、後方2箇所のフックを片側ずつ本体の角穴から外してください。

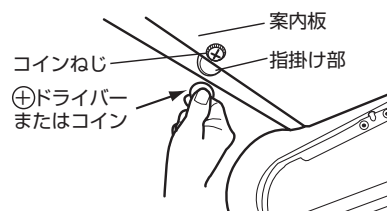
●内部の点検をする。

●案内板、フィルターを取付けます。

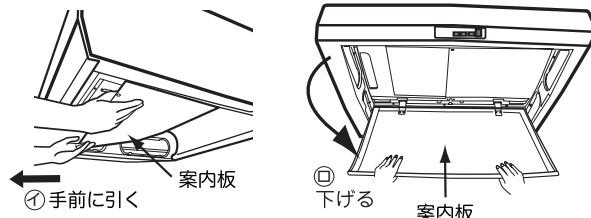
①案内板後方2箇所のフックを片側ずつ本体の角穴に引掛け、案内板を押し込みながら上へ回転させ、水平にしてからさらに押し込みます。ねじ穴と案内板の穴が合っていることを確認してからコインねじでしっかり締付けてください。

②フィルターを取付けます。

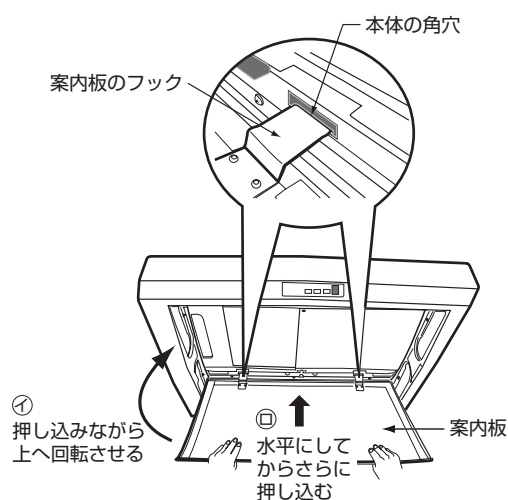
●**切**スイッチを3秒以上押し「ロック解除」(「ピー」音でロック解除)するか、分電盤のブレーカーを入れてから運転を確認してください。



●案内板の取外し



●案内板の取付け



ファン・ケーシングのお手入れ

「レンジフード内部の点検のしかた」に従い、フィルター・案内板を外します。

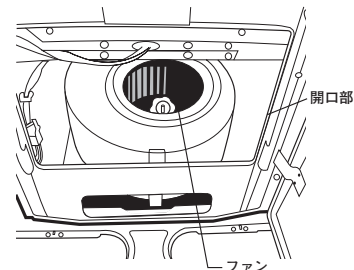
注意



ファンが回転中には、絶対に内部に顔や手を入れない。
回転するファンでけがをします。

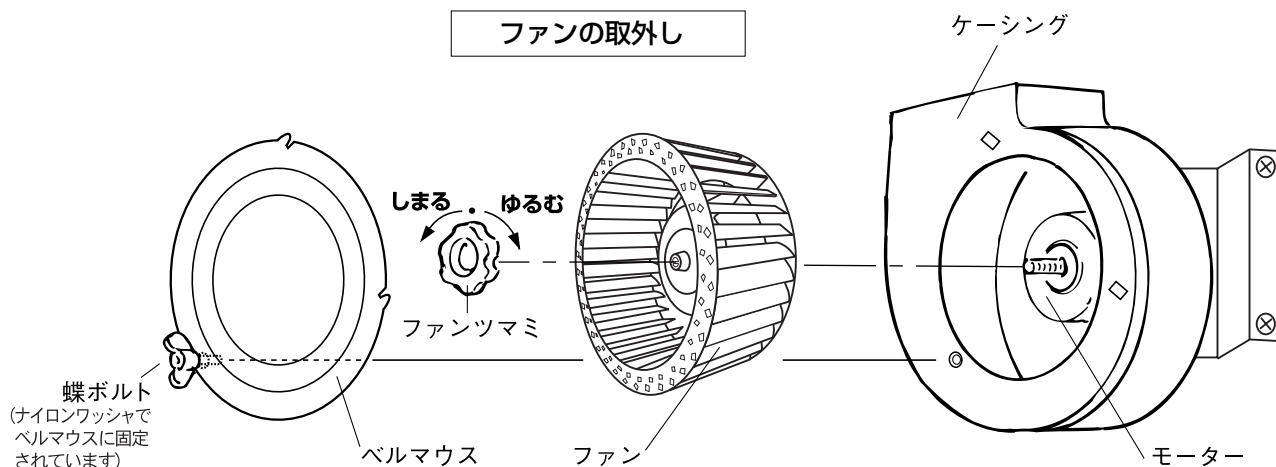


必ずゴム手袋をする。
ファンやケーシングの端部・突部で手を切るおそれがあります。



※ファンの取外し・取付けは上図の開口部から行ないます。

●ファンの取外し



●汚れのひどい時は下記要領で掃除してください。

- ①蝶ボルトをゆるめてベルマウスを取外した後、ファンツマミを「ゆるむ」方向に回転させファンを外します。
- ②市販の中性洗剤を入れたぬるま湯（40℃程度）にファンを20～30分浸します。
- ③スポンジやタオルでこすって汚れを落としてください。
- ④ケーシングの内部もスポンジやタオルでこすって汚れを落としてください。

※ファンはあまり力強くこすらないでください。変形しますと、排気性能が低下したり、運転中異音が出る場合があります。

お願い

**モーターに直接、洗剤・水をかけないでください。
故障の原因となります。**

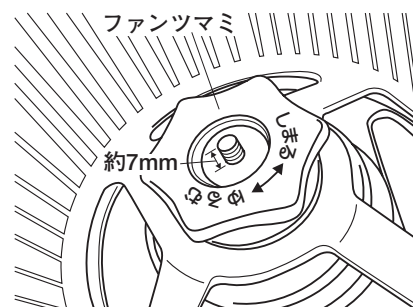
●ファンの取付け

外した時の逆の手順でモーターにファンをはめ込み、ファンツマミを「しめる」方向に回転させ、しっかり取付けます。

ファンツマミを閉めるとモーターの軸は約7mm出ます。出が少ない場合はもう一度しっかりファンを差し直してください。

●ベルマウスをはめ、蝶ボルトで固定します。

●案内板、フィルターを取付けます。



正規位置でファンナットを締め込んだ状態

6. 故障かなと思ったら

商品に異常が生じた時は、次の点をお調べになってから、お買い求めの販売店または当社のお客様相談窓口へご相談ください。故障・破損・変形のまま使用しないでください。

症 状	原 因	対処方法
<ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを入れてもファン・照明の電源が入らない。 ●ファンがまわらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●配電盤のブレーカーが「切」になっている。 ●運転スイッチがロック状態になっている。 ●電源プラグが外れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●配電盤のブレーカーを「入」にする。 ●「切」スイッチを3秒以上押してロックを解除する。 ●電源プラグを入れる。
<ul style="list-style-type: none"> ●照明がつかない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●LEDランプが切れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●LEDランプの交換を販売店へ依頼する。
<ul style="list-style-type: none"> ●異常音がする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ファンのツマミが緩んでいる。 ●バルマウスの固定ねじが緩んでいる。 ●フィルターが汚れている。 ●給気が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ファンのツマミを締め直す。 ●バルマウスの固定ねじを締め直す。 ●フィルターを掃除する。 ●十分な給気を確保する。
<ul style="list-style-type: none"> ●吸い込みが悪い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●フィルターが汚れている。 ●給気が不足している。 ●エアコンや窓からの風があたっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●フィルターを掃除する。 ●十分な給気を確保する。 ●風があたらないようにする。
<ul style="list-style-type: none"> ●リモコンスイッチを操作しても動作しない。 (別売リモコンを使用した場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ●電池が減っている。 ●電池の向きが間違っている。 ●リモコンの発信部や本体操作スイッチの受信部が油で汚れている。 ●運転スイッチがロック状態になっている。 (ロック状態ではリモコンスイッチを押すと「ピピッ」という音がします。) 	<ul style="list-style-type: none"> ●電池を交換する。 ●電池を正しく入れる。 ●発信部・受信部を掃除する。 ●レンジフード本体の「切」スイッチを3秒以上押してロックを解除する。
<ul style="list-style-type: none"> ●調理器具と連動しない。 (別売レンジフード連動タイプ専用調理器具を使用した場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ●調理器具の電池が減っている。 ●調理器具の発信部や本体操作スイッチの受信部が油で汚れている。 ●運転スイッチがロック状態になっている。 (ロック状態では調理器具を着火(運転)した時「ピピッ」という音がします。) ●調理器具が発信する赤外線信号が本体操作スイッチの受信部に届いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電池を交換する。 ●発信部、受信部を掃除する。 ●レンジフード本体の「切」スイッチを3秒以上押してロックを解除する。 ●鍋、釜、手、頭等で赤外線信号を遮らないようにする。 また、赤外線信号が人体に反射し、受信部で受信出来る位置に立って操作する。

7. 仕 様

定格電圧 (V)	ノッチ	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m ³ /h)		騒音 (dB)
				0 Pa	100 Pa	
100	強	50	98	515	430	42
		60	112	510	430	42
	中	50	55	320	—	33
		60	58	300	—	33
	弱	50	36	220	—	27
		60	36	215	—	27

消費電力、風量、騒音の測定は JIS C9603 による。

レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

8. 本製品の設計上の標準使用期間について

本製品は、設計上の標準使用期間を10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがございます。

※ 設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件（下記の〈設計上の標準使用期間の算定の根拠〉参照。）の下で、適切な取扱いで使用し、適切な維持管理が行なわれた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品毎に設定されるものです（消安法第32条の3）。メーカー無償保証期間とは異なるものですのでご注意ください。

〈設計上の標準使用期間の算定の根拠〉

本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、以下の標準的な使用条件を想定して、当社において耐久試験等を行った結果算出された数値等に基づき、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設計上の標準使用期間を設定しております。

《標準的な使用条件》

大項目	中項目	小項目
環境条件	電圧	100V
	周波数	50Hz／60Hz
	温度	20℃
	湿度	相対湿度65%
	設置条件	標準設置（取付設置説明書による）
負荷条件		定格負荷
想定時間	1年の使用時間	2,410時間／年

※社団法人 日本電機工業会の「各製品別 設計標準使用期間の標準的な使用条件（概要）」の「換気扇」から引用

〈ご注意ください〉

- ・本製品を上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境などでお使い頂いた場合においては、設計上の標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されます。
- ・製品を目的以外の用途で使用したり、業務用に使用されるなど、上記の標準的な使用条件と異なる環境で使用された場合も設計上の標準使用期間の到来前に経年劣化による重大事故発生のおそれが高まることが予想されますが、このようなご使用は、お控えいただくようお願いいたします。

9. 保証とアフターサービス

保証

万一不具合がございました際には、無料修理規定に従ってご購入日より1年の期間、無料修理させていただきます。

保証の概要についてはシステムキッチンの取扱説明書をご覧ください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本レンジフードの補修用性能部品を、商品廃番後7年間保有しております。

販売店からの注文により、供給致します。

(注) 性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理の際の連絡先

この取扱説明書をよくお読みのうえ、再度点検していただき、異常のある時は販売店またはお客様相談窓口までお申し出ください。

■お客様相談窓口は、裏面フリーダイヤルにお電話いただきますとつながります。

連絡内容

■ご住所 ■ご氏名 ■電話番号 ■商品名 ■ご購入日

■故障内容（どこの、なにが、どの様になった）

10. 廃棄処分される場合のお願い

廃棄処分される場合は、許可を受けている処分業者に処理を依頼してください。



お客様相談窓口



商品についてのご相談



0120-808194



修理のご相談



0120-119555

●受付時間／月曜～金曜 9:00～18:00

●受付時間／月曜～金曜 9:00～18:00 土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

お電話は、内容確認とサービスの向上等を目的として、保存(録音)させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針は<http://www.yamaha-living.co.jp>に公表してあります。

ヤマハリビングテック株式会社

〒432-8001 静岡県浜松市西区西山町1370

0903-TATORISESTC